

脳磁図・脳波同時記録による高周波数成分解析に基づくてんかん発作焦点の 後ろ向き観察研究についてのご説明

はじめに：

脳外科手術の対象となる難治性てんかんは、てんかん発作を生じる脳の部位（てんかん発作焦点）を切除することによって、治療を行います。最近、てんかん発作焦点では、従来の脳波ではとらえられない高い周波数の活動（高周波数成分）がみられる場合があることが明らかになってきており、この活動の解析を行えば、てんかん発作焦点を、これまでよりも厳密に同定できる可能性が考えられています。今回の研究は、過去の脳磁図データで高周波数成分についての解析を行います。

対象：

脳神経外科において 2016 年 1 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までに、手術前に札幌医科大学附属病院の指示で脳磁図検査を受けられた方を対象にしています。

研究内容：

過去に実施された脳磁図検査データの再解析を行い、てんかん発作焦点と高周波数成分の関係を調べます。高周波数成分の出現の有無、分布と、それ以外の検査結果・手術を受けられた方については術後の発作の有無などを比較し、高周波数成分がてんかん発作焦点とどのように関わっているのか考察します。なお、この研究を行うことで、患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。

個人情報の保護：

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施 過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切 含まれません。

データを提供したくない場合：

2016 年 1 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日までに、手術前に札幌医科大学附属病院よりの指示で北海道大学医学部附属病院脳磁図検査室において脳磁図検査を受けられた方の中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡ください。

研究期間：

病院長承認日から平成 34 年 12 月 31 日まで。

予定症例数：

当院 20 症例（全体 60 症例）。

医学上の貢献：

研究成果は、従来よりも精度の高い「てんかん発作焦点」の同定の一助になり、患者さんの治療と健康に貢献できます。

問い合わせ先：

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 脳神経外科

本院研究責任者 三國 信啓、同研究分担者 江夏 怜

【平日 TEL(011)611-2111 内線 33510 (教室)

休日・時間外 TEL (011)611-2111 内線 33510 (教室)】